

# 平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から令和元年3月31日まで

特定非営利活動法人  
しが障害者就労支援センター

## 1 事業の成果

当年9月に法人事務所を大津市今堅田へ移転し、名実ともに障害者施設の運営を離れ、新たな取り組みに着手できた一年であったと考えます。

1・糸賀一雄先生の旧居宅に事務所を設けることができ大変光栄に思うと共に責任を痛感し、建物等の維持管理及びその周知に全力で取り組んでまいりました。

2・障害当事者等への支援として28・29年度に農林水産省の助成を得て行った農福連携事業（福祉農園地域支援事業）を、30年度においても引き続き取り組み大きな成果を上げたものと考えます（別途報告書添付）

3・また昨今の福祉関係機関共通の課題である人材の確保・育成に関し、様々な施設の若手職員さん方に当事務所にお集まりをいただき交流会等を実施し、微力ではありますが貢献できたと考えます。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
精神障害者を対象とする各種福祉施設の運営	当該年度は実施なし					
作業訓練・就労訓練を兼ねた就労支援活動の実施	作業訓練・体験の場の提供	10月 (四日間)	大津市今堅田	2名	延べ15名	32,400
精神障害者の就労支援に関する調査・研究・普及啓発活動	持続可能な障害者の就労と地域交流のスキームの構築	通年	大津市・栗東市	10名	約40名	—

精神保健福祉に関する啓発活動	啓発活動への協賛 (映画会への参加)	2月	守山市	1名	約30名	—
各種イベントの開催	農と福祉の連携による都市農業機能発揮対策事業の実施 アドバイス及び研修を実施	5.10.11月	大津市・栗東市	10名	約140名	—
その他、法人の目的達成のために必要な事業	障害者施設の運営支援 障害者施設若手職員の育成(交流会開催)	通年	支援先事業所の所在地 法人事務所	1名 1名	延べ16か所 6回 42名	— —

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
不動産の賃貸 (貸室・駐車場等)	当該年度は実施なし				

3 法人の運営状況

(1) 正味財産額の状況

資産・負債・正味財産額の推移 (千円)

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	対前年
総資産額	90,542	100,169	110,199	66,122	48,648	73.6%
総負債額	13,076	14,901	16,944	14,501	20,090	138.5%
正味財産額	77,466	85,267	93,255	51,621	28,557	55.3%

・令和元年3月31日現在の正味財産額 28,557千円

(2) 理事会開催状況

現在の役員数 理事3名 監事1名 (令和元年3月31日現在)

現在の役員任期 令和3年3月31日まで

① 第39回理事会 平成30年5月17日

- ・平成29年度事業報告を承認
- ・平成29年度収支決算報告を承認
- ・平成29年度事業並びに決算監査を承認
- ・社員総会開催を承認

平成30年度都市農業機能発揮対策事業評価書  
(福祉農園地域支援事業)

## 1. 事業名

福祉農園地域支援事業

## 2. 事業実施主体名

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

## 3. 事業概要

## ・事業目的

平成30年度都市農業機能発揮対策事業(以下、本事業という)を実施することによって、①地域農家や住民において農地の活用性・農業の有効性の理解促進が図られ、事業継承者、新規就農者の輩出により都市農地が保全される ②人口流入に比例して増加する障害者から農業ニーズを引き出しあたらしい産業の担い手として育成する ③障害者就労支援施設職員から地域に対し主体的に農地活用コーディネートをする人材を輩出する ④経営的に持続可能で自立した事業運営を目指すため、自然栽培・固定種の採取事業について研究し事業開発をおこなう。などの効果を生み出し、連携ネットワークを活用して全国へモデル普及することを目的とする。

## ・事業費・交付額(単位:円)

年 度	事 業 費	交 付 額	備 考
平成28年度	1,351,718円	1,351,718円	28年度実績額を記入して下さい。
平成29年度	1,503,811円	1,500,000円	29年度実績額を記入して下さい。
平成30年度	20,000円	0円	30年度事業費実績額を記入して下さい。
計	2,875,529円	2,851,718円	

## ・事業実施期間

平成28年5月24日～平成29年3月31日

## 4. 実績評価

## (1) 目標の達成状況等の総合的評価

事業所「ウッディ伊香立」では、本事業を活用した昨年度までの成果により、自然栽培農業で生産した野菜、耕作放棄地を活用して生産したそばなどを、農地に併設する飲食事業のそば店で活用しており、徐々に食材の自給率が拡大しています。

一方で、店舗広告サイン用に制作したのぼりや看板の効果によって客数が伸び、確実に売り上げアップに貢献しています。また、のぼりを活用してミニマルシェを昨年度に引き続き開催し、また、移動販売車やお祭りなどへの出店などにより地域の方との交流を広げ、農業や飲食事業のPRの機会になりました。

これまでは、飲食事業中心に就労支援事業を展開していたウッディ伊香立では、新規事業の「農業」に収益性の効果が表れ始め、確実に障害者の収入アップに結び付いている実感があります。また、「自然栽培野菜」や「自家栽培自家製そば」という付加価値のある強みを持つことで次々に新しい挑戦をするきっかけができました。

また、実施連携先の事業所「おもや」では、おもやの就労支援事業の主力である農業を多くの方に知ってもらうため、田植え、稲刈りのイベントを開催しました。おもやのある地域は都市地域にあたり、宅地開発により新しい住民が増えてきているため、農に触れる機会が少ない住民にとって農業イベントは関心は高く、多くの方に参加いただきました。

農業イベントでは、地域住民との交流がおもやのファンの拡大につながり、おもやがサブ事業で展開するカフェレストランにお客としても来店される効果が出ており、着実に農業をベースにした地域との交流をきっかけとして障害者の工賃向上に表れてきています。

## (2) 取組状況

本事業で取り組む地域住民への農業の有効性の理解促進として、田植えおよび稲刈りイベントの開催やミニマルシェの開催および野菜移動販売を実施しました。

それぞれのイベントでは、地域住民との交流を通じた障害者理解、体験を通じた食の安心安全の啓発を目的に置き、イベントをきっかけにして多くの方に農福連携事業のを知っていただくことができました。

- 5月26日 田植えイベント
- 10月21日 稲刈りイベント
- 11月15日 ミニマルシェイベント
- 7月～2月 移動販売・出店販売

(3) 事業実績

【普及活動】交流会の開催

●田植えイベントの開催(おもや)5月26日

(成果)地域の親子約60人が参加して、昔ながらの田枠を使った作業や手植えの体験をしてもらうなど、農に親しんでもらいました。そして、昼食時には、おもやで生産された自然栽培野菜を使用したお弁当を提供し、無農薬野菜の美味しさを実感していただきました。また、水が張られた田んぼにフナの子魚を放流して、環境に優しい米作りについて学び合い、この田んぼと水でつながる琵琶湖の水資源を守り、滋賀県が先進的に取り組む環境こだわり農業の応援にもつなげています。

●稲刈りイベントの開催(おもや)10月21日

(成果)地域の親子約60人が参加して、稲の手刈り、わらの結束、はさ掛けを体験してもらいました。天日干しをして、おいしいお米ができるまでの作業を体験してもらい、昼食では、おもやの秋の収穫野菜をふんだんに使ったお弁当を食べていただきました。収穫したお米は天日干し後に参加した方にお届けしました。

●ミニマルシェの開催(ウッディ伊香立)11月15日

(成果)ウッディ伊香立で生産した野菜のほか、おもやの農産品も共同で販売しました。当日のイベントでは、地域PTA22名の見学会も兼ね、障がい者が農業をする圃場やそば店の見学をしていただき、昼食およびマルシェでの買い物をしていただきました

●野菜移動・出店販売(ウッディ伊香立)7月～2月期間中に計21回

(成果)ウッディ伊香立で生産した自然栽培野菜を近隣地域の方に知っていただき、そば店にも来店をしていただくためのPRも兼ねて、福祉施設やお祭りなどの機会に野菜の移動販売をおこないました。

(4) 実施体制

しが障害者就労支援センター・HUBs・・・企画立案支援(企画内容や広報などのサポート)  
ウッディ伊香立・おもや・・・イベント運営(職員で準備から運営を実施)

(5) その他事項

本事業による先進地視察や専門家のアドバイスにより、おもやでは、農業をベースに地域を巻き込む新しい取り組みを始め、ウッディ伊香立では、農業に可能性を発見して新しい事業が始まりました。

定期的に農業体験会やマルシェなど地域住民との交流イベントをつくって行くことで、職員や利用者の地域へ関わる機会が増え、地域交流への意識が芽生え、主体的に取り組む職員を育てることにつながりと考えます。

5. 事業実施結果

・目標達成状況 事業計画の「定量的指標、目標」欄から目標等を記入して下さい。

目 標	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率
持続可能な障害者の就労と地域交流のスキームの構築	障害者の利用者数	50	40	80%
	交流会参加者数	80	580	725%
		0	0	
		0	0	

(計測方法)

障害者の利用者数・・・実施主体および協力関係団体における実利用者のうち本事業において実施期間中ののべ1か月以上で農作業に従事した障害者の実数  
交流会参加者数・・・普及活動において実施する企画について参加したのべ人数

・所見

今後は、この取り組みを通じて、収益事業を確立させ、障がい者の支払い工賃のアップを図り、地域での自立を促していきます。

- ・法人の主たる事務所の変更延期を承認
- ・その他の事項を報告
- ② 第40回理事会 平成30年10月22日
  - ・法人の主たる事務所の変更を承認
  - ・臨時社員総会の開催を承認
- ③ 臨時理事会 平成31年3月1日
  - ・現理事全員の留任を承認
  - ・臨時社員総会開催を承認
- ④ 臨時理事会 平成31年3月15日
  - ・理事長、副理事長を選任
- ⑤ 第41回理事会 平成31年3月27日
  - ・平成30年度事業計画案・予算案を承認
  - ・その他の事項を報告

### (3) 社員総会開催状況

現在の社員総数 10名 (31年3月31日現在)

- ① 第12回社員総会 平成30年6月13日
  - ・平成29年度事業報告を承認
  - ・平成29年度収支決算報告を承認
  - ・平成29年度事業並びに決算監査を承認
  - ・平成30年度事業計画案・予算案を承認
  - ・その他の事項を報告
- ② 臨時社員総会 平成30年10月26日
  - ・法人の主たる事務所の変更を承認
- ③ 臨時社員総会 平成31年3月15日
  - ・任期満了に伴う役員の改選を承認

## 4 おわりに

次年度においても、新たに設けた事務所を起点とし、他の障害福祉施設の運営支援及びその職員交流等を積極的に行い、関係機関と連携して福祉人材育成に取り組み、障害者福祉の向上に寄与したいと考えます。

# 平成30年度 活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

## <福祉事業活動収支の部>

勘定科目		予算額	実績額	予算との差額	対予算	備考	
福祉活動収入の部	事業収入	30,000	0	-30,000	0.0		
	合計	30,000	0	-30,000	0.0		
	その他	事務受託収入	300,000	0	-300,000	0.0	
		会費収入	10,000	10,000	0	100.0	社員会費
		受取利息	1,000	468	-532	46.8	
		雑収入	69,000	0	-69,000	0.0	
合計		380,000	10,468	-369,532	2.8		
収入合計		410,000	10,468	-399,532	2.6		
福祉活動支出の部	人件費	給料手当	3,200,000	3,147,720	-52,280	98.4	職員退職金・賞与加算
		法定福利費	400,000	447,564	47,564	111.9	
		福利厚生費	100,000	93,354	-6,646	93.4	
		退職給付引当金繰入	1,000,000	10,000,000	9,000,000	1,000.0	
		合計	4,700,000	13,688,638	8,988,638	291.2	
	管理費	研修会開催費	400,000	0	-400,000	0.0	都市農業機能発揮対策事業費
		事務委託費	100,000	245,592	145,592	245.6	
		報償費	200,000	1,012,800	812,800	506.4	
		職員研修費	100,000	541,020	441,020	541.0	
		諸会費	50,000	0	-50,000	0.0	
		通信費	250,000	162,017	-87,983	64.8	
		旅費	300,000	185,280	-114,720	61.8	
		車両維持費	400,000	592,255	192,255	148.1	
		消耗品費	200,000	402,922	202,922	201.5	
		印刷製本費	10,000	0	-10,000	0.0	
水道光熱費	300,000	114,394	-185,606	38.1			
雑費	400,000	975,753	575,753	243.9	事務所移転諸費		
合計	2,710,000	4,232,033	1,522,033	156.2			
事業費	固定資産物品費	1,000,000	0	-1,000,000	0.0		
	備品費	300,000	963,331	663,331	321.1		
	修繕費	400,000	3,527,115	3,127,115	881.8		
	地代家賃	500,000	605,729	105,729	121.1	事務所家賃・地代	
	公益活動費	800,000	57,172	-742,828	7.1	関係団体への寄付等	
合計	3,000,000	5,153,347	2,153,347	171.8			
支出合計		10,410,000	23,074,018	12,664,018	221.7		
収支差額		-10,000,000	-23,063,550	-13,063,550	230.6		

## 損益計算書

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

(単位： 円)

科 目	金 額
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	
販売費及び一般管理費合計	17,920,671
営業損失金額	17,920,671
<b>【営業外収益】</b>	
会費収入	10,000
受取利息	468
営業外収益合計	10,468
<b>【営業外費用】</b>	
公益活動費	57,172
備品費	963,331
修繕費	3,527,115
地代家賃	605,729
営業外費用合計	5,153,347
経常損失金額	23,063,550
税引前当期純損失金額	23,063,550
当期純損失金額	23,063,550

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	3,147,720
法 定 福 利 費	447,564
福 利 厚 生 費	93,354
退職給付引当金繰り入れ	10,000,000
報 償 費	1,012,800
職 員 研 修 費	541,020
通 信 費	162,017
旅 費 交 通 費	185,280
車 両 維 持 費	592,255
消 耗 品 費	402,922
水 道 光 熱 費	114,394
賃 料 損 料 費	245,592
雑 費	975,753
販売費及び一般管理費合計	17,920,671



# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人  
しが障害者就労支援センター

科 目	金 額	詳 細
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,753,946	現金・預金(滋賀銀行本店他)
前払費用	244,800	地代9か月分・社労士報酬
短期貸付金	2,650,016	特定非営利活動法人HUB's貸付け
小計	48,648,762	
資産合計	48,648,762	
負債の部		
流動負債		
未払金	73,918	社会保険料3月分
預り金	17,046	源泉所得税
小計	90,964	
固定負債		
退職給付引当金	20,000,000	職員退職給与引当金
小計	20,000,000	
負債合計	20,090,964	
正味財産額	28,557,798	

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人しが障害者就労支援センター

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科目	合計	科目	合計
【流動資産】	48,648,762	【流動負債】	90,964
現金及び預金	45,753,946	未払金	73,918
前払費用	244,800	預り金	17,046
短期貸付金	2,650,016		
		【固定負債】	20,000,000
		退職給付引当金	20,000,000
		負債の部合計	20,090,964
		純資産の部	
		【正味財産】	28,557,798
		正味財産	28,557,798
		純資産の部合計	28,557,798
資産の部合計	48,648,762	負債及び純資産合計	48,648,762